

ERL 推進室のこの一年と今後

Progress of the ERL Project at this fiscal year and future

河田洋

ERL 計画推進室、高エネルギー加速器研究機構

この一年は 3GeV-ERL 計画に取って非常に重要な一年となった。

一つは、3GeV-ERL に向けての概念設計書(CDR)をユーザーの皆さんを含む関係各位の協力を得て出版し¹⁾、その内容を踏まえて ERL 計画国際諮問委員会(ERL・IAC)を 7 月に開催し、非常に前向きなアドバイスを頂いた。

二つは、その 3GeV-ERL を実現するに当たって重要な一里塚となる cERL の進捗である。cERL は着実に建設が進み、4月から電子ビーム運転を開始し電子銃から入射部超伝導空洞までの入射部の立ち上げが開始される。詳細は坂中氏の講演を参照したい。

三つは、KEK のロードマップに 3GeV-ERL の実現を明記したことである。これに関しては 4 月 5-6 日に国際評価委員会で議論の対象となるが、KEK の大型プロジェクトとして明記されたことは大きな進展であると同時に、大きな責任を痛感している。

今後、cERL の開発状況をフィードバックしつつ、2013年度末には技術設計書(TDR)を完成させ、一日も早く 3GeV-ERL の実現に向けて努力して行く予定である。是非、利用者の皆様も ERL のサイエンスに関して盛り上げて行って頂きたい。

当日の講演では、プロジェクト全体の進捗と今後に関して報告する。

1) http://pfwww.kek.jp/ERLoffice/database/ERL_CDR_full_text.pdf